

プラント状況確認結果(平成25年6月25日～7月2日)

平成25年 7月 2日
福島県原子力安全対策課

○ 平成25年6月25日～7月2日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、不具合等の連絡はありませんでした。

また、4月5日に発生した地下貯水槽からの汚染水漏えい事象の経過の詳細と現況については、[こちら](#)をご参照ください。

(1) プラント状況(7月2日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.5	5.4	5.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	28.4	40.7	38.9	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³)(A系)	1.74×10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.00	0.08	0.12	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	25.0	25.3	23.6	31

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(7月2日午前10時)

最小 1.8(MP-6)～最大 5.9(MP-3) マイクロシーベルト/時 →[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(7月1日採取分)

最小 6.5(物揚場前)～最大 33(3号機スクリーン(シルフェンス内側)) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(7月1日採取分)

5,6号機放水口北側に30m: 検出限界未満

1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界未満 ※検出限界値は約1.3 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(7月1日採取分)

西門: 検出限界未満 ※検出限界値は約1×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(7月1日採取分)

最小 検出限界未満(3,4号機)～最大 0.34(1号機) Bq/cm³ ※検出限界値は約0.02 Bq/cm³

【参考事項】

6月25日 17時36分頃、プロセス建屋1階北西の漏えい検知器が作動しましたが、現場確認の結果、漏えいはありませんでした。原因については、一時的な誤動作と考えられ、6月28日に検知

器の交換を行いました。

(問い合わせ 024-521-1917)